

お客様へ

●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



誤った取り扱いをすると、人かけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



●点灯異常の際は電源を切る

異常を感じたときは速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。



●定期的に点検する

3年に1回は専門家（工事店・電気店）による点検を実施してください。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長時間使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。
※使用条件：周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。（JIS C8105-1解説による）



●清掃の際は必ず電源を切る

感電・破損の原因になります。



●可燃物を近づけたり、本製品の真下に熱源を置いたりしない

本製品を布や紙などの可燃物でおおったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。



●破損したものを使用しない

本製品が破損した状態で使用しないでください。速やかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。



●分解や改造はしない

本製品の分解・改造・部品の追加・変更・塗装などはしないでください。落・感電・変形・火災の原因になります。



●本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まない

火災や感電の原因になります。

LED照明使用上の注意

- 本製品の近くで他の機器のリモコン（リモートコントローラー）を操作した場合、誤動作することがあります。本製品と他の機器のリモコンを離して使用してください。
- ラジオ、ワイヤレス機器は、なるべく本製品から離して使用してください。雑音が入ったり、誤動作したりすることがあります。
- 本製品の電源は、電子レンジやコピー機などの高ワット製品とは回路を分けて使用してください。高ワット製品の使用時にちらつくことがあります。
- LED照明は、同一型番でも発光色、明るさが異なることがあります。
- 表示が発光するスイッチに使用した場合、スイッチの発光部が暗くなったり点灯しなかったりすることがあります。
- 照射距離が近いと、光むらが発生する場合があります。
- 点灯中や消灯直後に、器具プラスチック部品の伸縮によるきしみ音が発生することがありますが、故障や異常ではありません。

お手入れ方法

- 安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。
- 清掃する際は必ず電源を切り、本製品が冷えたことを確認してから行ってください。
 - 本製品のすき間に金属や可燃物を差し込んで清掃をしないでください。内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
 - 清掃には、水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って拭いてください。その後洗剤が残らないように水拭きしてください。
 - シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

保証とアフターサービス

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より5年間です。

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。

※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間にについて

当社は本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

法人向けLED照明
ホームページ

<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

製品に関するお問い合わせは(通話料無料)
0800-111-5300 <受付時間> 平日9:00~18:00、土・日・祝日9:00~12:00/13:00~17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは(通話料無料)
0800-111-9300 (メールフォームにご記入のうえ送信してください) <https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>

施工説明書

取扱説明書
保管用
日本国内専用

IRIS ECOHiLUX LINE LUX edge
エコハイルクス

LED照明器具 直付型 600mmサイズ(末端専用)

電気工事必要

本製品の取り付け工事は、必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。

安全上の注意

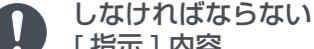
図記号の意味



注意を促す記号



してはいけない
[禁止] 内容



しなければならない
[指示] 内容

施工担当者様へ

●工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



必ず実施

●電源は定格電圧・定格周波数で使用する

本製品は日本国内のAC100~242V(電圧変動±6%以内)、周波数50/60Hz専用です。それ以外の電源で使用すると、LEDチップの短寿命や火災の原因になります。



禁止

●破損しているものを取り付けない

感電・火災・落下・けがの原因になります。

●LED照明器具単独では使用しない

ライルクスedge専用器具と、専用LEDユニットの組み合わせ以外では使用しないでください。故障や火災の原因になります。

●本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まない

火災や感電の原因になります。

●粉塵・オイルミスト・引火性ガス・虫が発生する場所には取り付けない

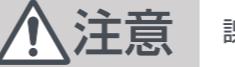
発熱・発煙・火災の原因になります。

●可燃物の近くや熱源の真上に取り付けない

ドアや建具の開閉範囲の近くに取り付けないでください。被照射物の変形・変色や火災の原因になります。また暖房器具の真上に取り付けると、本製品が過熱し、火災・感電・落下・けがの原因になります。

●分解や改造はしない

本製品の分解・改造・部品の追加・変更・塗装などはしないでください。落・感電・変形・火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人かけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



必ず実施

●屋内の適正温度(5°C~35°C)で使用する

屋外や高温で使用すると、故障や短寿命の原因になります。



禁止

●高温の場所、直射日光の当たる場所には取り付けない

劣化・腐食・落下の原因になります。

●雨水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けない

水滴や湿気により絶縁不良になり、漏電・感電の原因になります。

●酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない

腐食や落下的原因になります。

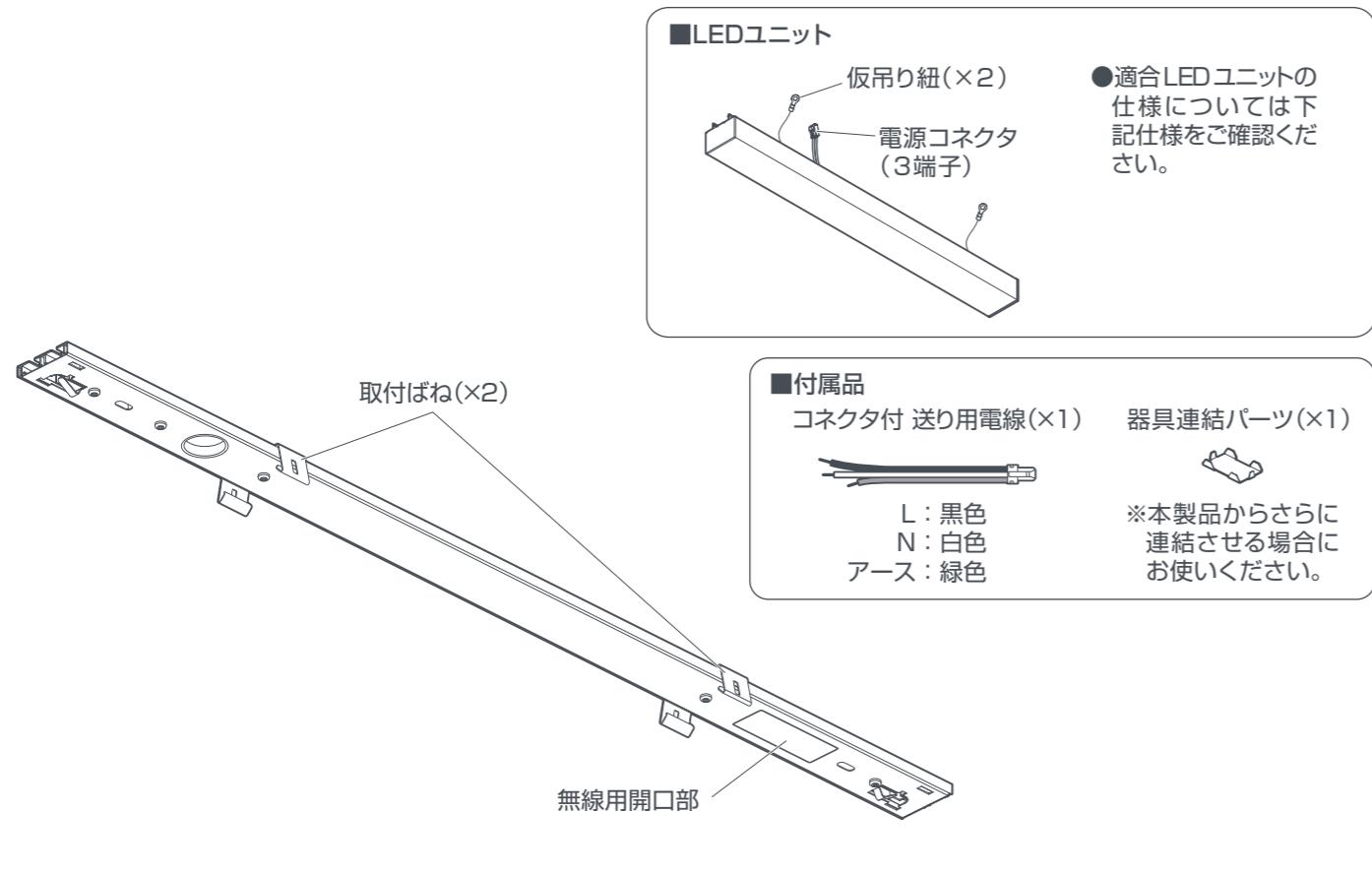
その他の注意 設置や取り扱いについての注意です。

- 硫黄成分がある場所には取り付けないでください。メッキ工場などのように硫黄成分を含むガス・蒸気・液体にさらされるおそれがある場所では使用しないでください。光学性能に影響を与える場合があります。
- 電源方式により騒音(うなり)が大きくなる場合がありますので、以下の配線を行ってください。
 - ・三相電源を使用する場合は、必ず接地側を器具の端子台のN側に接続してください。
 - ・電源と器具間に片切りスイッチを設ける場合は、必ず非接地側(電圧側)に取り付けてください。
- 点灯スイッチは、必ず非接地側(電圧側)に取り付けてください。接地側に取り付けた場合、消灯後もランプが薄暗く発光することがあります。(接地極のない電源では両切りスイッチを使用してください。)
- 調光器(ライトコントロール)は使用できません。故障や短寿命の原因になります。
- 器具は水平天井以外には取り付けないでください。傾斜天井、壁などには取り付けできません。発熱により寿命が短くなったり落下したりする原因になります。
- 防犯カメラやビデオカメラを介して照射面を見た際、カメラのモニターや録画画像にしま模様やちらつきが見える場合があります。

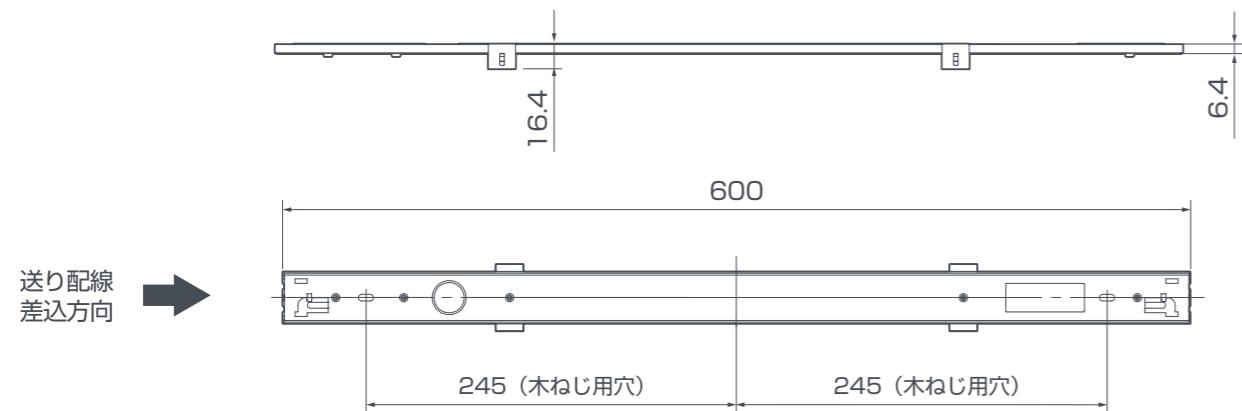
各部の名称と仕様

- 説明図は形状の一部を省略しています。
- 部品が不足している場合は、お買い上げ店またはLED照明サポートコールまでご連絡ください。

各部の名称



取付寸法図



仕様

器具品番	器具単体サイズ(mm)	質量(kg)	適合LEDユニット品番構成 (□はタイプ別の記号)
EGB-CLO6	L600×W44×H16.4	0.15	EGU-□□□-06-LI(無線制御LiCONEX対応) EGU-□□□-06(調光非対応) EGU-□□□-06-D(PWM制御方式) EGU-□□□-06-DA(DALI制御方式)

●定格電圧: AC100~242V ●定格周波数: 50/60Hz ●製造: 中国

●ラインルクスedge適合LEDユニットについて

LEDユニットの仕様については、各LEDユニット同梱の取扱説明書をご覧ください。

LEDユニットは、上記[適合LEDユニット品番構成]以外は取り付けできません。ご注意ください。

※本施工説明書と併せ、製品本体の表示および技術資料(仕様書など)をご確認ください。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

LEDユニットの取り外しかた

- 取り外しはゆっくり確実に行ってください。

1 分電盤ブレーカーおよび電源スイッチを切り、電源を遮断する

使用する器具の電源を必ず遮断してください。



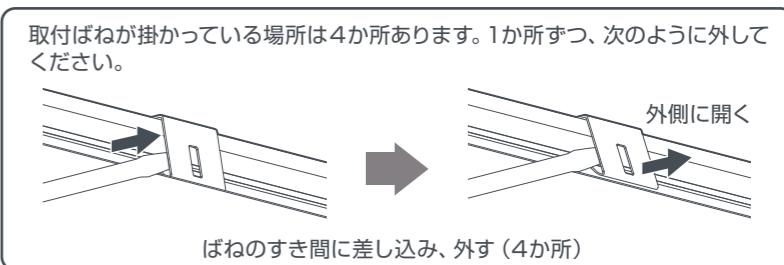
電源を遮断しないで作業をすると、感電のおそれがあります。

2 LEDユニットを取り外す

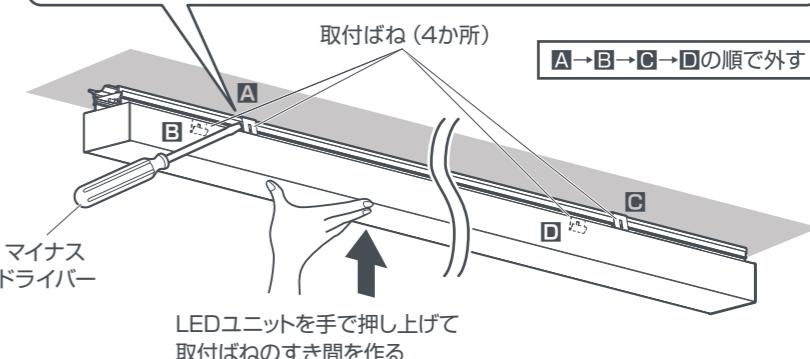
①LEDユニットを取付ばねから取り外す。

- 取付ばね4か所をA→B→C→Dの順で次のように外してください。

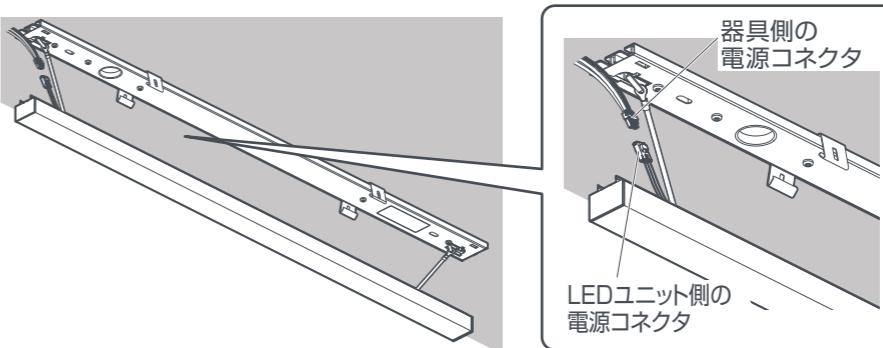
1. LEDユニットを押し上げて取付ばねにすき間を作り、そこにマイナスドライバーを差し込む。
2. 取付ばねを外側に開き、外す。



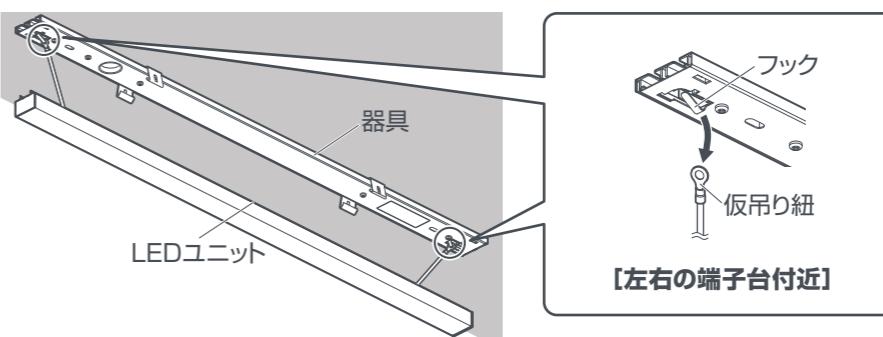
LEDユニットは勢いよく引き下げないでください。
電源コネクタが引っ張られて破損したり、LEDユニットが落下して破損やけがをするおそれがあります。



②電源コネクタを外す。(PWM/DALI制御方式の場合は、調光信号線も端子台から外す。)



③仮吊り紐の器具側のリングをフックから外す。



器具の取り付けかた

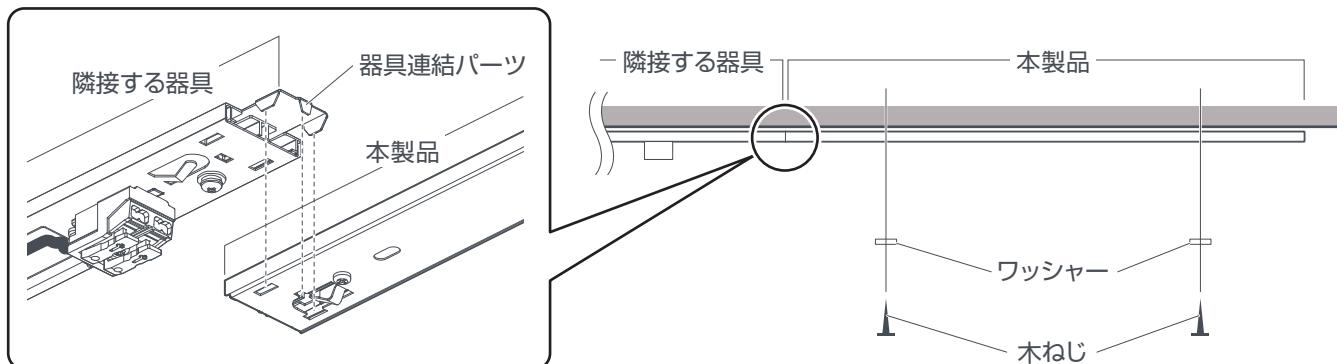
●部品は正確に取り付けてください。

- 本製品は隣接する器具と連結して取り付けます。

本製品の端を器具連結パーツに合うように差し込み、ワッシャーと木ねじで固定する。(取付寸法図に示した木ねじ用穴2ヶ所)

※吊りボルトでは施工できません。

※ワッシャー・木ねじは別途準備してください。



- 設置面に下地があることを確認してから取り付けてください。

落下の原因になります。

- 木ねじはφ4を使用し、外径8mm以上のワッシャーを必ず入れてください。

LEDユニットの取り付けかた

●部品は正確に取り付けてください。

1 分電盤ブレーカーおよび電源スイッチ を切り電源を遮断する

使用する器具の電源を必ず遮断してください。



注意

電源を遮断しないで作業をすると、感電のおそれがあります。

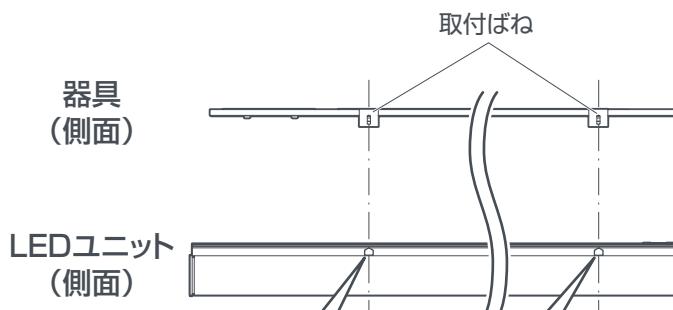
2 LEDユニットと器具の取り付け位置を確認する

- LEDユニットと器具には向きがあります。下図を参考に取り付け位置を必ず確認してください。

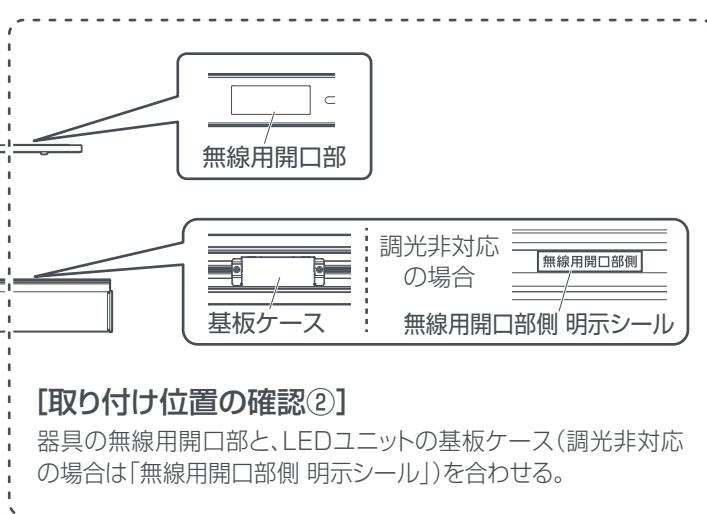


警告

LEDユニットの位置が正しくないと、配線部品などにあたり、取り付けできません。また落下して重大なけがの原因になります。



[取り付け位置の確認①]
器具の両端にある取付けねとLED
ユニットの△マークを合わせる



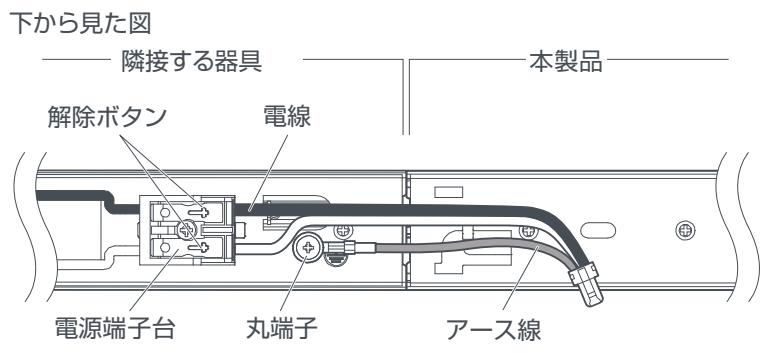
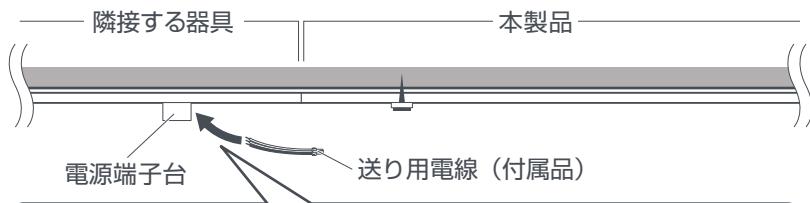
[取り付け位置の確認②]

器具の無線用開口部と、LEDユニットの基板ケース(調光非対応の場合は「無線用開口部側 明示シール」)を合わせる。

LEDユニットの取り付けかた つづき

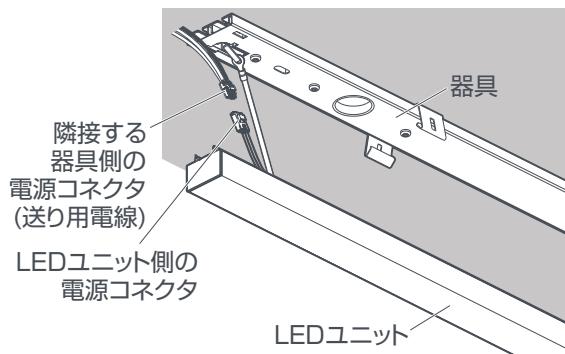
3 付属品の送り用電線を隣接する器具に接続する

- ①付属品の送り用電線を、隣接する器具の電線端子台に差し込む。
- ②アース線は電源端子台付近の丸端子にかしめる。



5 電源コネクタを接続する

LEDユニット側と隣接する器具側の電源コネクタを接続する。

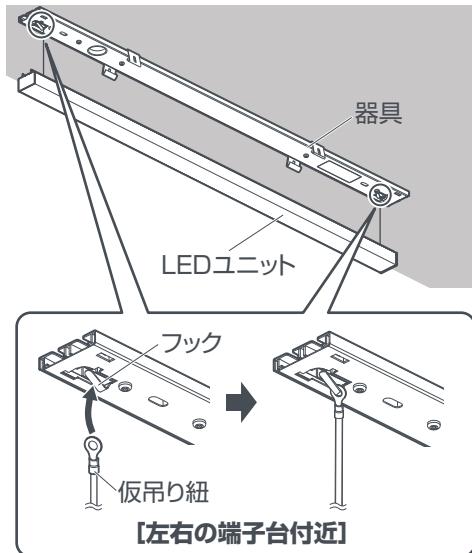


警告

電源コネクタは奥まで確実に差し込んでください。接続がゆるいと、不点灯や発熱・火災の原因になります。

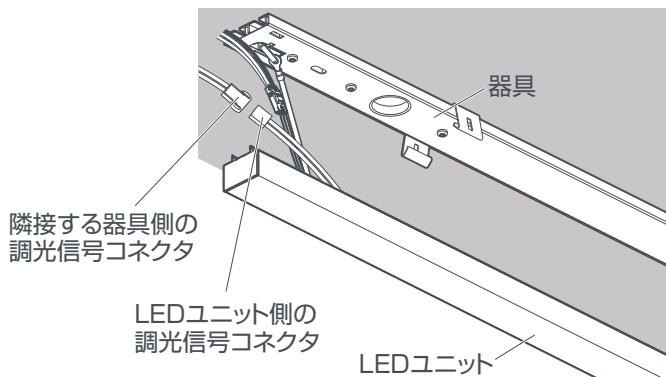
4 器具に仮吊り紐を取り付ける

仮吊り紐のリングを左右の端子台付近のフックに引っ掛ける。



6 PWM/DALI制御方式のみ 調光信号コネクタを接続する

LEDユニット側と隣接する器具側の調光信号コネクタを接続する。



7 LEDユニットを器具に取り付ける

- ①△マークの付近を持ち、LEDユニットを器具と平行に、パチンとなるまで押し上げる。
- ②LEDユニットを軽く引き下げても外れないことを確認する。外れそうになった場合は、LEDユニットを引き下げて、再度作業をする。



配線をかみ込まないよう注意して取り付けてください。LEDユニットが固定されず、落下の原因になります。

